

平成26年2月19日

広島大学学術講演会

「NEXT 明日を拓く^{ひら}科学」の開催について

平成21年度政府一般会計補正予算に計上された先端研究助成基金による補助事業「最先端・次世代研究開発支援プログラム」略して「NEXTプログラム」の「国民との科学・技術対話」の一環として、学術講演会を下記のとおり開催します。

NEXTプログラムは、将来、世界をリードすることが期待される潜在的可能性を持った研究者への研究支援制度で、平成22年度に「グリーンイノベーション」と「ライフイノベーション」の2つのカテゴリーに分けて公募が開始され、広島大学では、それぞれのカテゴリーに各2件、合計4人の研究者の課題が採択されました。

この学術講演会では、NEXTプログラムに採択された本学の課題の研究成果を分かりやすくお話しします。

記

【日時】平成26年3月7日（金）13時～16時30分

【場所】広島大学東広島キャンパス 中央図書館ライブラリーホール

【参加費】無料（事前申込不要）

【対象】どなたでもご参加いただけます。

【プログラム】

13時00分～13時10分	開会挨拶
13時10分～13時55分	齋藤健一（自然科学研究支援開発センター・教授）
13時55分～14時40分	東 清一郎（大学院先端物質科学研究科・教授）
14時40分～15時00分	（休憩）
15時00分～15時45分	兼松 隆（大学院医歯薬保健学研究院・教授）
15時45分～16時30分	丸山博文（大学院医歯薬保健学研究院・准教授）
16時30分	閉会

【お問い合わせ先】

学術・社会産学連携室

研究企画室 小左古 学

TEL:082-424-5860

FAX:082-424-6990

広島大学 学術講演会

ひら

NEXT 明日を拓く科学

開催日時：平成26年3月7日（金）13時から

開催場所：広島大学中央図書館ライブラリーホール

参加費：無料（事前申込は不要です）

13:10～13:55 齋藤 健一（自然科学研究支援開発センター 教授）

「ナノ物質を塗って作るLEDと太陽電池」

「低消費電力の照明，高効率の太陽電池」，これに低価格が加わると，普及そしてエネルギー問題解決へ大きく前進します。そのためには，1) 簡単な作製法，2) 入手しやすい原材料，3) 安定性が重要です。我々は，極めて小さなシリコン微粒子（ナノ粒子，ナノ構造）を作り，LEDと太陽電池を作る研究をしています。夢は，簡単に作れ，安価，長持ち，そして高効率なLEDと太陽電池です。

13:55～14:40 東 清一郎（大学院先端物質科学研究科 教授）

「プラスチック上に集積回路や太陽電池をつくる」

コンピュータやスマートフォンなどの最先端電子機器の頭脳は集積回路で，シリコンという半導体の単結晶を使って造られています。太陽電池もシリコン結晶を使って発電しています。我々はペットボトルにも使われている安価なプラスチック（PET：ポリエチレンテレフタレート）上に単結晶シリコンを作る新しい技術を開発し，トランジスタおよび太陽電池の動作に成功しました。本講演では，世界初のこの技術の概要を分かりやすく説明します。

15:00～15:45 兼松 隆（大学院医歯薬保健学研究院 教授）

「インスリン分泌や脂肪分解制御に関わる新たな分子の機能解析」

我々が見出したPRIP分子の遺伝子欠損マウス解析から，この分子は細胞内輸送系に働きインスリン分泌や脂肪分解制御に関わる事が分ってきました。PRIP分子による生活習慣病のコントロールについて紹介します。

15:45～16:30 丸山 博文（大学院医歯薬保健学研究院 准教授）

「筋萎縮性側索硬化症へのオプチニューリンの関与」

筋萎縮性側索硬化症は根本的な治療法のない難病です。私たちはこの病気の原因遺伝子としてオプチニューリンを発見し，その役割について研究しています。この病気や遺伝に関すること，およびオプチニューリンの働きについてご紹介します。

この講演会は，最先端・次世代研究開発支援プログラムに採択された研究の成果を分かりやすくお話しするものです。講演内容は，高校生以上の一般の方にも理解できる内容となっています。



お問い合わせ先：広島大学 学術・社会産学連携室 研究企画室
TEL：082-424-6037 FAX：082-424-6990
e-mail：gakujutu-kikaku@office.hiroshima-u.ac.jp